

# 疾病対策課



## V 疾病対策課の業務概要

疾病対策課は、結核予防事業、感染症予防事業、エイズ対策事業、原爆被爆者対策事業等を主業務としている。また、感染症健康危機管理事業として、訓練や会議を通して地域の健康危機管理体制の整備、連携強化をはかっている。

### 1 結核予防事業

令和3年の結核患者の新登録患者数は74(前年83)人、罹患率(人口10万対)は8.9(前年10.1)であった。なお、肺結核のうち塗抹陽性患者の占める割合は37.5(前年48.3)%と減少した。(表1-(1)、(2))

感染症診査協議会への報告・諮問件数は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第18条に基づく就業制限通知が31(前年35)件、同法第19条及び第20条に基づく入院勧告が118(前年141)件、同法第37条の2に基づく医療費公費負担診査が174(前年185)件であった。(表1-(10)、(11))

DOTS(直接服薬確認療法)の強化を目的に、DOTS支援員の派遣、薬局DOTSの実施により個々の患者に対する服薬支援の向上に努めた。

平成19年4月に感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)に結核予防法が統合され、結核は2類感染症とされたが、本事業年報では結核に関しては結核予防事業として、感染症予防事業に含めずに計上する。

## (1) 管内結核患者登録者数の動向

表1－(1) 登録者数の年次推移

(単位：人) 1

区分		年	平成 13年	平成 18年	平成 23年	平成 28年	令和 元年	令和 2年	令和 3年
管内人口			467,197	474,934	783,415	796,479	817,672	822,344	831,099
新登録患者数			116	88	139	102	99	83	74
年末時登録者数			295	337	358	241	237	205	181
結核死亡者数	管内		4	8	11	7	2	7	6
	千葉県		78	86	67	71	62	68	71
結核死亡率 (人口10万対)	管内		0.9	1.7	1.4	0.9	0.2	0.9	0.7
	千葉県		1.5	1.7	1.3	1.3	1.2	1.3	1.3
罹患率 (人口10万対)	管内		24.8	18.5	17.7	12.8	12.1	10.1	8.9
	千葉県		23.2	20.0	16.3	14.2	11.1	9.8	8.7
有病率 (人口10万対)	管内		32.1	13.9	10.8	8.7	8.7	7.2	5.3
	千葉県		25.4	14.6	11.4	9.1	6.9	6.0	5.2

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③平成19年以前のデータは、管轄区域：松戸市のみ。

④新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

⑤罹患率：新登録活動性結核患者数×10万/人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万/人口

(2) 新登録患者数

表1-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	活 動 性 結 核				肺 活 外 動 結 核 性	( 罹 人 口 10 患 万 対 ) 率	占 塗 肺 め 抹 結 る 割 陽 核 合 ( % ) の ち	( 潜 在 性 結 核 感 染 症 ) 無 症 状 病 原 体 保 有 者	疑 似 症 患 者	の 結 核 死 亡 者 体	の 結 核 死 亡 疑 い 者 体	
			計	陽 喀 痰 塗 性 抹	結 核 菌 陽 性	そ の 他 の								そ の 陰 性
令和元年		99	75	35	29	11	24	12.1	46.7	54	-	-	-	
令和2年		83	60	29	19	12	23	10.1	48.3	45	-	1	-	
令和3年 (うち外国籍)		74 (5)	56 (4)	21 (1)	25 (1)	10 (2)	18 (1)	8.9 (0.6)	37.5 (25.0)	38 (6)	- (-)	- (-)	- (-)	
松戸市		53	40	17	16	7	13	10.7	42.5	22	-	-	-	
流山市		16	12	3	6	3	4	7.9	25.0	8	-	-	-	
我孫子市		5	4	1	3	-	1	3.8	25.0	8	-	-	-	

(3) 年末時登録者数 (活動性分類別)

表1-(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	活 動 性 結 核				肺 活 外 動 結 核 性	不 活 動 性 結 核	不 明	( 有 病 人 口 10 万 対 ) 率	( 潜 在 性 結 核 感 染 症 ) ( 別 掲 )		
			計	陽 喀 痰 塗 性 抹	登 録 時 結 核 菌 陽 性	そ の 他 の 登 録 時					そ の 陰 性 登 録 時	治 療 中	観 察 中
令和元年		237	71	23	20	9	19	139	27	8.7	47	103	
令和2年		205	59	19	12	8	20	112	34	7.2	41	69	
令和3年		181	44	14	14	6	10	108	29	5.3	29	48	
松戸市		121	34	12	9	5	8	67	20	6.8	18	26	
流山市		35	8	2	4	1	1	22	5	3.9	8	12	
我孫子市		25	2	-	1	-	1	19	4	1.5	3	10	

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表1 - (4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分 総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
		9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以 上
令和元年	99	-	1	13	2	6	10	4	25	28	10
令和2年	83	-	-	10	6	10	5	5	17	21	9
令和3年 (うち外国籍)	74 (5)	- (-)	2 (-)	2 (1)	8 (2)	4 (1)	7 (1)	6 (-)	14 (-)	24 (-)	7 (-)
松戸市	53	-	2	2	6	1	5	5	11	16	5
流山市	16	-	-	-	1	2	2	-	2	7	2
我孫子市	5	-	-	-	1	1	-	1	1	1	-

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表1 - (5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分 総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
		9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以 上
令和元年	237	-	1	29	18	20	32	24	44	52	17
令和2年	205	-	-	24	16	19	25	18	43	46	14
令和3年	181	-	1	18	20	16	22	10	37	46	11
松戸市	121	-	1	14	14	9	15	6	26	30	6
流山市	35	-	-	2	5	3	6	1	4	10	4
我孫子市	25	-	-	2	1	4	1	3	7	6	1

(6) 患者面接実施状況

表1-(6) 患者面接実施状況

年		区分	人数 (人)	DOTS 内容 (延件数)														
				登録時喀痰塗抹陽性						喀痰塗抹陰性				潜在性結核				
				入院時			退院後					電話・その他			電話・その他	薬局		
				訪問回数	左の内訳		訪問面接	所内面接	電話・その他								薬局	
初回	期間内	退院前																
令和元年	保健師	3	176	45	100	31	252	106	502	-	92	103	262	-	8	65	313	-
	DOTS 支援員	4	-	-	-	-	40	-	-	-	20	-	-	-	5	-	-	-
	薬局	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	-	-	-	-	4
令和2年	保健師	3	29	29	-	-	75	60	1,247	-	44	45	1,559	-	12	20	313	-
	DOTS 支援員	3	-	-	-	-	39	-	20	-	66	-	15	-	5	-	10	-
	薬局	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	12
令和3年	保健師	4	23	23	-	-	65	-	1,044	-	32	18	423	-	30	14	228	-
	DOTS 支援員	3	-	-	-	-	50	-	26	-	28	-	19	-	-	-	24	-
	薬局	4	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	15	-	-	-	11
令和3年	患者数 (人)		21						53				38					

※潜在性結核の患者数は、内服治療を希望しなかった登録者を除く

(7) DOTS実施状況

表1-(7) DOTS実施状況

(単位:人)

年		区分	全 結 核 患 者			潜在性結核 感染症
				肺結核患者 (再掲)		
					肺結核喀痰 塗抹陽性患者 (再掲)	
令和元年	実施者数	95	80	43	53	
	患者数※	95	80	43	53	
令和2年	実施者数	83	61	33	43	
	患者数※	83	61	33	43	
令和3年	実施者数	69	50	23	40	
	患者数※	69	50	23	40	

※前年の新登録患者数 (転入者を含み、治療開始1ヶ月未満に死亡した者及び転出者を除く)。

※平成27年1月7日付け健感発0107第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について (情報提供) を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表1－(8)－ア 家族健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ② / ① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
令和元年	117	113	96.6	196	132	5	55	2	2	104	-	7	2	1.8
令和2年	113	104	92.0	153	110	-	43	-	-	96	-	7	1	1.0
令和3年	67	64	95.5	86	53	-	33	-	-	60	-	4	-	-
保健所				81	49	-	32	-	-					
委託分				5	4	-	1	-	-					
その他				-	-	-	-	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に，受診券による実施は委託分に計上

イ 接触者健診実施状況

表1－(8)－イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ② / ① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
令和元年	733	661	90.2	916	562	12	342	-	-	632	6	21	2	0.3
令和2年	726	627	86.4	743	517	2	216	4	4	618	-	9	-	-
令和3年	539	469	87.0	584	382	0	194	4	4	449	3	17	0	0.0
保健所				69	22	-	47	-	-					
委託分				473	360	-	105	4	4					
その他				42	-	-	42	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に，受診券による実施は委託分に計上



(9) 管理検診実施状況

表1-(9) 管理検診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	エックス線撮影	喀痰検査		結果(実人数)			
						塗抹	培養	観察不要	経過観察	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
令和元年	345	297	86.1	521	463	29	29	270	27	-	-
令和2年	280	233	83.2	399	372	13	14	191	42	-	-
令和3年	230	207	90.0	326	316	5	5	184	22	1	0.5
保健所				35	35	-	-				
委託分				263	253	5	5				
その他				28	28	-	-				

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1-(10)-ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2) (単位:件)

区分 年	総数			被用者保険						国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
				本人		家族		国民健康		国民健康	後期高齢者		生活保護法	その他							
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
令和元年	235	233	2	69	67	2	15	15	-	51	51	-	85	85	-	14	14	-	1	1	-
令和2年	185	182	3	47	46	1	13	12	1	45	45	-	69	68	1	10	10	-	1	1	-
令和3年	174	171	3	52	51	1	7	7	-	40	38	2	64	64	-	11	11	-	-	-	-

表1-(10)-イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条) (単位:件)

区分 年	総数	被用者保険		国民健康 保険	後期高齢者	生活保護法	その他
		本人	家族				
令和元年	52	10	-	8	29	5	-
令和2年	39	5	-	8	24	1	1
令和3年	33	4	3	4	16	6	-

※本表は実人数で計上

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

区分 年	総数
令和元年	45
令和2年	35
令和3年	31

表1-(11)-イ 入院勧告数 (単位:件)

区分 年	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長通知数 (20条第4項)
令和元年	44	43	67
令和2年	35	35	71
令和3年	32	31	55

表1-(11)-ウ 入院措置数

(単位:件)

区分 年	入院措置数
令和元年	—
令和2年	—
令和3年	—

## (12) ツベルクリン反応検査・IGRA検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況

(単位：件)

年	ツ反検査数(延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm未満	30mm以上	未就学児	小学生	その他
令和元年	-	17	17	-	-	17	-	-
令和2年	-	2	-	2	-	2	-	-
令和3年	-	-	-	-	-	-	-	-

表1-(12)-イ IGRA検査実施状況 (単位：件)

年	IGRA検査数(延件数)		結果			
	保健所	委託分	陰性	判定保留	陽性	判定不可
令和元年	238	454	629	9	53	1
令和2年	349	276	591	2	32	-
令和3年	71	364	411	-	22	2

## (13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況

(単位：件)

年	総数		接触者		管理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
令和元年	259	357	164	173	95	184
令和2年	227	341	145	112	82	229
令和3年	114	359	79	106	35	253

## (14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1-(14) 定期結核健康診断実施報告状況

年 区分	項目	対象者数 ①	健診者数 ②	健診率 ②/① (%)	間接撮影 件数	直接撮影 件数	喀痰検査 件数	発病のおそれ がある者の 数	患者発見 数③	患者発見 率 ③/② (%)
	令和元年		257,121	87,393	34.0	5,983	81,410	15	2	2
令和2年		250,855	73,253	29.2	5,084	68,187	1	-	1	0.001
令和3年		253,888	75,718	29.8	4,756	70,959	11	-	1	0.001
内 訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)	9,776	9,329	95.4	1,850	7,476	-	-	-	-
	施設 福祉施設入所者 (65歳以上)	2,386	2,192	91.9	443	1,749	1	-	-	0.04
	施設 その他施設 入所者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業者	25,324	23,903	94.4	2,463	21,440	10	-	-	-
	市町村長	216,402	40,294	18.6	-	40,294	-	-	-	-

## 2 感染症予防事業

令和3年は、感染症法に基づく1類・2類（結核は除く）感染症の発生はなく、3類感染症は14人（前年19人）、4類感染症は10人（前年21人）、5類感染症（全数把握対象分）の発生は78人（前年297人）。

令和3年は新型コロナウイルス感染症の対応に終始し、入院が必要な患者の受診調整を中心に対応していった。施設への感染対策の指導をとして、県のクラスター班の派遣調整を行った。

感染性胃腸炎の施設内集団発生の現地調査・指導件数は12件（前年度8件）、相談対応件数は27件（前年度1件）であった。乳幼児施設・学校・高齢者施設等で発生し、検便等疫学調査及び感染拡大防止について継続支援をした。

平常時対策として例年は医療機関の立入検査の実地指導の際等に、施設内感染対策の視点から助言・指導を実施していたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の流行のため、医療機関立ち入り検査は書面にて実施した。例年は高齢者施設や乳幼児施設に対しても研修会を開催し、施設内感染症対策の周知を図っているが、新型コロナウイルス感染症の流行のため、研修会を開催することができなかった。

感染症情報の迅速な共有と関係機関の連携強化のため、平成24年8月から『松戸保健所感染症情報ネットワークシステム』を運用し、感染症発生状況、法改正の情報等を発信している。

感染症健康危機管理事業としては、事案の発生に備え、管内関係各機関と情報交換会を開催し連絡体制を確認し連携強化を図っていたところ、本年度は訓練を実際のものとする事となり、円滑な搬送、入院について連携ができた。

所内では、患者発生時に備えて必要物品や所内体制の確認を行った。

### (1) 1類感染症発生状況

表2- (1) 1類感染症発生状況 (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
令和3年	—	—	—

### (2) 2類感染症発生状況（結核は除く）

表2- (2) 2類感染症発生状況 (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
令和3年	—	—	—

(3) 3類感染症発生状況

表2-(3) 3類感染症発生状況

(単位：人)

年・市町村	病類	総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性 大腸菌 感染症	腸チフス	パラチフス
令和元年		36	-	-	36	-	-
令和2年		19	-	-	18	1	-
令和3年		14	-	-	14	-	-
松戸市		5	-	-	5	-	-
流山市		5	-	-	5	-	-
我孫子市		3	-	-	3	-	-
その他 (管外)		1	-	-	1	-	-

## (4) 4類感染症発生状況

表2-(4) 4類感染症発生状況

(単位:人)

疾患名		令和元年	令和2年	令和3年
1	E型肝炎	3	1	3
2	ウエストナイル熱	-	-	-
3	A型肝炎	1	-	-
4	エキノコックス症	-	-	-
5	黄熱	-	-	-
6	オウム病	-	-	-
7	オムスク出血熱	-	-	-
8	回帰熱	-	-	-
9	キャサナル森林病	-	-	-
10	Q熱	-	-	-
11	狂犬病	-	-	-
12	コクシジオイデス症	-	-	-
13	サル痘	-	-	-
14	ジカウイルス感染	-	-	-
15	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	-	-	-
16	腎症候性出血熱	-	-	-
17	西部ウマ脳炎	-	-	-
18	ダニ媒介脳炎	-	-	-
19	炭疽	-	-	-
20	チグングニア熱	-	-	-
21	つつが虫病	-	-	-
22	デング熱	2	2	-
23	東部ウマ脳炎	-	-	-
24	鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く)	-	-	-
25	ニパウイルス感染症	-	-	-
26	日本紅斑熱	-	-	-
27	日本脳炎	-	-	-
28	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
29	Bウイルス病	-	-	-
30	鼻疽	-	-	-
31	ブルセラ症	-	-	-
32	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
33	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
34	発しんチフス	-	-	-
35	ボツリヌス症	1	-	-
36	マラリア	-	-	-
37	野兎病	-	-	-
38	ライム病	-	-	-
39	リッサウイルス感染症	-	-	-
40	リフトバレー熱	-	-	-
41	類鼻疽	-	-	-
42	レジオネラ症	14	12	7
43	レプトスピラ症	-	-	-
44	ロッキー山紅斑熱	-	-	-

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2- (5) -ア 5類感染症発生状況

(単位：人)

疾患名		令和元年	令和2年	令和3年
1	アメーバ赤痢	7	7	5
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	2	1	-
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7	13	5
4	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	-	-	-
5	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	25	13	10
6	クリプトスポリジウム症	-	-	-
7	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	2
8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5	4	5
9	後天性免疫不全症候群	8	4	6
10	ジアルジア症	-	-	-
11	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	4	2
12	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	-	-
13	侵襲性肺炎球菌感染症	24	7	5
14	水痘(入院例に限る。)	4	4	2
15	先天性風しん症候群	-	-	-
16	梅毒	30	25	29
17	播種性クリプトコックス症	-	-	-
18	破傷風	1	-	-
19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	1	-
21	百日咳	206	26	7
22	風しん	23	1	-
23	麻しん	-	-	-
24	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

※ 4の疾患は平成30年5月1日より届出の対象となった。

※21の疾患は平成30年1月1日より届出の対象となった。



イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2-(5)-イ-(ア)-a 患者定点医療機関数

(単位：箇所)

インフルエンザ	小 児 科	眼 科	性 感 染 症	基 幹	疑 似 症
24	15	5	6	1	1

b 定点把握対象疾患

表2-(5)-イ-(ア)-b 定点把握対象疾患状況

(単位：人)

疾 患 名		令和元年	令和2年	令和3年
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	13,143	3,765	2
2	RSウイルス感染症	562	25	1,250
3	咽頭結膜熱	262	94	95
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3,222	2,582	783
5	感染性胃腸炎	4,597	2,024	2,401
6	水痘	354	214	121
7	手足口病	2,646	56	80
8	伝染性紅斑	489	67	16
9	突発性発しん	374	304	297
10	百日咳	報告対象外	報告対象外	報告対象外
11	ヘルパンギーナ	416	15	80
12	流行性耳下腺炎	45	41	34
13	急性出血性結膜炎	-	1	-
14	流行性角結膜炎	63	35	24
15	性器クラミジア感染症	113	56	-
16	性器ヘルペスウイルス感染症	80	24	-
17	尖圭コンジローマ	24	12	-
18	淋菌感染症	24	15	-
19	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	8	-	-
20	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-
21	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	5	6	-
22	マイコプラズマ肺炎	84	27	-
23	無菌性髄膜炎	2	-	-
24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	-
25	メシチリン耐性黄色ブドウ菌感染	71	24	-
26	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-

※「10 百日咳」は5類感染症の定点把握疾患であったが、平成30年1月1日から5類の全数把握疾患となったため、平成30年以降は「報告対象外」と記載した。

(イ) 病原体定点

表 2 - (5) - イ - (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数 (箇所)	3	1	-	1
検体提供数 (件)	-	-	-	-

(6) 指定感染症発生状況

表 2 - (6) 指定感染症発生状況 (発生届受理数) (単位: 人)

年	疾 患 名	人 数
令和 3 年	新型コロナウイルス感染症	50,302

(7) その他

表 2 - (7) インフルエンザ様疾患届出状況 (単位: 件)

年度 区分	届 出 施設数	届 出 患者数	措 置			
			学 級 閉鎖数	学 年 閉鎖数	休校数	その他
令和元年度	171	2,450	152	17	2	-
令和 2 年度	-	-	-	-	-	-
令和 3 年度	-	-	-	-	-	-
幼 稚 園	-	-	-	-	-	-
小 中 学 校	-	-	-	-	-	-
高 等 学 校	-	-	-	-	-	-
そ の 他	-	-	-	-	-	-

(8) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表2-(8)-ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

病類 年度	疾患名	調査(人)	検査(件)
令和3年度	-	-	-

イ 2類感染症

表2-(8)-イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況(結核は除く)

病類 年度	疾患名	調査(人)	検査(件)
令和3年度	-	-	-

ウ 3類感染症

表2-(8)-ウ 3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位:調査(人),検便(件))

病類 年度	総数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	
令和元年度	38	161	-	-	-	-	37	159	1	2	-	-	19
令和2年度	16	63	1	1	-	-	15	60	-	2	-	-	2
令和3年度	14	41	-	-	-	-	14	41	-	-	-	-	1

エ 4類感染症

表2-(8)-エ 4類感染症健康調査状況

(単位:人)

年度	疾患名	調査
令和3年度	レジオネラ症	7

オ 5類感染症

表2-(8)-オ 5類感染症健康調査状況 (単位：件)

年 度	疾 患 名	調 査
令和3年度	感染性胃腸炎	調査 12 ・ 相談対応 27
	インフルエンザ	0

カ 指定感染症

表2-(8)-カ 指定感染症健康調査状況 (単位：件)

年 度	疾 患 名	調 査
令和3年度	新型コロナウイルス感染症	24,968

(9) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表2-(9) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

(単位：調査（人）)

区 分 年 度	総 数	管外での感染症 発生に伴う調査数 (検疫通報除く)	自主申告による 調査数	検疫通報に伴う 接触者及び同行者 調査数	検便実施者数 (件)	検 出 菌			
						コレ ラ	赤 痢	○ 157	そ の 他
令和元年度	4	4	-	-	131	-	-	-	12
令和2年度	7	7	-	-	7	-	-	-	-
令和3年度	3	3	-	-	2	-	-	-	2

(10) 衛生研究所への確認検査依頼数

表2-(10) 衛生研究所への確認検査依頼数 (単位: 件)

区分	疾患名	依頼数	内訳
	麻しん風しん疑い	5	麻しん疑い4 風しん疑い1
	バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	-	
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	-	
	急性脳炎	8	
	SFTS、日本紅斑熱疑い	-	

(11) 就業制限・入院勧告通知数(結核を除く)

表2-(11)-ア 就業制限通知数 (単位: 件)

年度	区分	疾患名			計	
		細菌性赤痢	腸管出血性 大腸菌感染症	腸チフス		新型コロナ ウイルス感染症
令和元年度		-	38	1	13	52
令和2年度		-	15	-	4,301	4,316
令和3年度		-	14	-	41,427	41,441

表2-(11)-イ 入院勧告通知数 (単位: 件)

年度	区分	疾患名	計
		新型コロナウイルス感染症	
令和元年度		13	13
令和2年度		1,479	1,479
令和3年度		1,352	1,352

(12) 感染症予防啓発活動実施状況

ア 感染症予防対策研修会実施状況

表2-(12)-ア 感染症予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	実施 対象	参加人数 (人)
令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。				

イ 流山市保育課は、流山市内の保育所における感染対策のレベルアップを目的とする流山市保育所感染対策事業の一環として、「N-NICT（流山市保育所感染制御チーム）」を平成29年10月5日に立ち上げた。保健所としては、N-NICT立ち上げに際し、研修会を実施し、感染対策に関する助言・指導を行った。立ち上げ後には、感染症マニュアル作成の手引きの改訂に伴う助言等を行い、流山市内の保育施設の感染対策の向上に向け支援している。

ウ 院内感染対策に関する指導

医療施設立入検査（書類検査）33（病院33）施設の際に、院内感染のための指針や院内感染対策委員会の設置、研修会の実施、院内感染対策マニュアルの整備等に関し院内感染対策の視点から検査・指導を実施した。

エ 社会福祉施設・学校等への感染対策の指導

感染症発生時には、随時疫学調査及び感染拡大防止策のための指導を実施した。

オ 松戸保健所感染症情報ネットワークシステム

管内における感染症情報の迅速な共有を図るとともに、松戸保健所（松戸健康福祉センター）と、関係機関の連携強化を図るため『松戸保健所感染症情報ネットワークシステム』を構築し、平成24年8月より運用を開始した。ネットワークシステム登録者（医師会・医療機関・歯科医師会・歯科医院・薬剤師会・薬局・市・教育委員会・学校・社会福祉施設等の関係機関等）に対し、感染症に関する情報を月1回定期的に一斉配信、また、必要に応じ随時、臨時で配信している。当初の登録機関は125件であったが、周知啓発により令和3年度末には約700件の登録となった。令和3年度の感染症情報配信は、29回となった。

(13) 感染症健康危機管理事業

ア 新型インフルエンザ等地域医療委員会

表2-(13)-ア 新型インフルエンザ等地域医療委員会開催状況

開催月日	出席者数	主な協議内容
-	-	-

イ 新型インフルエンザ等訓練、その他会議

表2-(13)-イ 新型インフルエンザ等訓練、その他会議実施状況

開催月日	参加者数	内容
-	-	-

ウ 所内における感染症健康危機管理に関する研修会・訓練

表2-(13)-ウ 所内研修会・訓練実施状況

実施日	場所	テーマ	参加人数 (人)
-	-	-	-

3 エイズ対策事業

HIV検査は即日検査(日中)及び夜間検査で実施し、同時に梅毒・クラミジア・淋菌検査、肝炎対策事業として肝炎検査を実施している。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。(表3-(3))。

エイズ予防啓発事業としては、管内小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の保健主事及び、養護教諭、保健体育教諭等を対象として、例年講習会を開催しているが、令和3年度は中止した。

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表3-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場所	活動内容	テーマ	対象	参加人数 (人)
令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。					

イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表 3 - ( 1 ) - イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実 施 日	主 な 内 容
令和 3 年 12 月 1 日	「世界エイズデーキャンペーン」 管内市町村、看護師・助産師専門学校等に広報資料の配架

( 2 ) エイズ相談受付状況

表 3 - ( 2 ) エイズ相談受付状況 ( 単位 : 件 )

年度	性別	相談方法	性別		小計	合計
			男	女		
令和元年度		電話相談	27	40	67	124
		来所相談	32	25	57	
		そ の 他	-	-	-	
令和 2 年度		電話相談	128	110	238	243
		来所相談	4	1	5	
		そ の 他	-	-	-	
令和 3 年度		電話相談	152	104	256	257
		来所相談	1	0	1	
		そ の 他	-	-	-	



(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3-(3)-ア HIV検査受付状況 (単位:件)

年度 年齢階級		性別			外国籍 者数(人)	確認検査 件数
		男	女	合計		
令和元年度		173	99	272	3	-
令和2年度		-	-	-	-	-
令和3年度		-	-	-	-	-
年 階 級	～19歳	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	-	-	-	-	-
	30歳～39歳	-	-	-	-	-
	40歳～49歳	-	-	-	-	-
	50歳～59歳	-	-	-	-	-
	60歳～69歳	-	-	-	-	-
	70歳～	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-

※令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。

表3-(3)-イ 性感染症・肝炎検査受付状況 (単位:件)

年度		検査性別		クラミジア検査			梅毒検査			淋病検査			肝炎検査					
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	C型肝炎検査			B型肝炎検査				
											計	男	女	計	男	女		
令和元年度		241	154	87	269	171	98	-	-	-	274	175	99	273	174	99		
令和2年度		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
令和3年度		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施。淋菌検査は、令和2年度より追加。

令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。

#### 4 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

##### (1) 被爆者手帳交付状況

表4- (1) 被爆者手帳交付状況 (単位：件)

区分 年度 市町村	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
令和元年度	291	-	2	2	20	271
令和2年度	271	-	5	-	8	268
令和3年度	268	-	6	-	24	250
松戸市	161	-	4	-	14	151
流山市	66	-	1	-	6	61
我孫子市	41	-	1	-	4	38

(注) ( ) は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

##### (2) 被爆者健康診断実施状況

表4- (2) 被爆者健康診断実施状況 (単位：人)

年度	施設		対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数
令和元年度	保健所	前期	290	15	5.2	1
		後期	285	14	4.9	-
	委託医療機関		-	76	-	51
令和2年度	保健所	前期	-	-	-	-
		後期	-	-	-	-
	委託医療機関		-	21	-	6
令和3年度	保健所	前期	-	-	-	-
		後期	-	-	-	-
	委託医療機関		-	27	-	13

※令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。

(3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況

表4-(3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況 (単位：件)

区分 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総数	238	229	225
医療特別手当	11	11	10
特別手当	7	7	6
原子爆弾小頭症手当	-	-	-
健康管理手当	191	188	180
保健手当	13	13	13
介護手当	2	1	1
葬祭料	14	9	15
健康手当	209	206	196

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。